

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.1

OKAYAMA GT 300km RACE

2024年4月13日(土)～14日(日)岡山国際サーキット(岡山県美作市)

■ ■ ■ ■ 予選 8 位からタイヤ無交換作戦で追い上げ 4 位入賞 ■ ■ ■ ■

埼玉 Green Brave は 5 年目の GR Supra を GT300 クラスに投入。ドライバーは昨年のチャンピオン、吉田広樹選手と TOYOTA GAZOO Racing 育成ドライバーの野中誠太選手の新コンビです。

予選日(土曜日)の天候は晴。95 分間の公式練習は 9 時半から行われ、吉田選手が最初にコースイン。10 分ほど走行後、野中選手に交代します。その後、再び吉田選手に交代。ピットインのたびに各部を調整しており、最適なバランスを探す作業が続きます。吉田選手がラスト 10 分間の GT300 専有を担当して、セッションは終了。ベストタイムは吉田選手が 5 周目にマークした 1 分 26 秒 579 で、順位は 26 台中 5 位です。

GT300 の公式予選は 14 時から。昨年までのノックアウト制から Q1、Q2 ドライバーの合算タイム制に変更され、Q1、Q2 は同じタイヤで走行する必要があるため(決勝のスタートタイヤも同じタイヤを使用)、繊細なタイヤマネジメントが求められます。Q1(10 分間)は A、B の 2 組に分かれて行われ、埼玉 Green Brave は A 組に出場。ドライバーは吉田選手です。吉田選手は 3 周目からアタックを行い、4 周目に 1 分 26 秒 673 のベストラップをマーク。3 位で Q1 を終了し、Q1 の上位組で行われる、Q2(Gr.1)に進出しました。Q2 の時間も 10 分間。野中選手は終盤にアタックを行う作戦で、タイミングを見極めながら、ゆっくり周回を続けます。野中選手は 5 周目にアタックを行い、1 分 26 秒 900 をマーク。Q2 の順位は 10 位で、合算タイムにより予選 8 位につけました。

決勝日(日曜日)の天候も晴。レース距離は 300km(82 周)です。チームはタイヤ無交換で予選 8 位からジャンプアップする作戦を実行。スタートドライバーの野中選手が好スタートを見せ、予選 7 位の#6 フェラーリをパス。7 位で 1 周目を終えますが、複数のクルマがコース上にストップしており、セーフティカーが導入されます。8 周目からレース再開。野中選手はタイヤを温存しながら#96 レクサス RC F をマークします。レースの 3 分の 1 が経過した 25 周目、野中選手がピットイン。吉田選手に交代し、給油のみのタイヤ無交換でピットアウトします。レースに復帰した吉田選手の順位は 19 位。吉田選手は上位のピットインにより、毎周のように順位を上げていき、33 周目にはシングル圏内の 10 位まで進出します。37 周目には 7 位に上がり、事実上のトップである#2GR86 の後ろにつけることに成功。50 周目にはトップを走っていた#65AMG がピットに入り、タイヤ 4 本を交換したため、トップ 3 は#2GR86、吉田選手、#65AMG となります。吉田選手は表彰台を目指して力走。ピットで見守るスタッフも、モニターに釘づけになります。しかし、50 周を過ぎたあたりから、タイヤの摩耗が進み、ペースダウン。#65AMG と#7BMW の接近を許します。吉田選手はクリーンなバトルで応戦しますが、65 周目に#65AMG、71 周目に#7BMW に抜かれ、4 位へポジションダウン。後続とは大きな差がついており、4 位でチェッカーを受けました。ピットに戻ってきた吉田選手とスタッフは非常に悔しそうですが、昨年の開幕戦が 5 位だったことを考えるとポジティブな結果です。次戦は埼玉 Green Brave と相性の良い、富士スピードウェイ。ディフェンディングチャンピオンらしい圧巻の走りで、今季初優勝に期待です。

決勝結果 (GT300 クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT
(吉田広樹/野中誠太)

決勝: 4 位 (77 周、2 時間 03 分 59 秒 330)

予選: 8 位 合算タイム: 2 分 53 秒 573

(Q1A 組: 3 位、Q2Gr.1: 10 位)



DRIVERS VOICE



吉田広樹 選手

(予選後) 自分的にはそれなりにまとめきれたと思っています。ただ、B組に出場した、同じエンジンとタイヤを使用する2号車に結構なタイム差をつけられたので、一発の速さがちょっと詰め切れていないのかなと感じています。一発の予選タイムを上げることを考えなきゃいけないと、再認識しました。ぼくらの強みは決勝だと思うので、少しでもレース中に順位を上げ、表彰台争いまで行けたらいいなと思っています。戦っている相手が上位からスタートすることになるので、自分の強みを生かした展開に持っていきたいと思います。

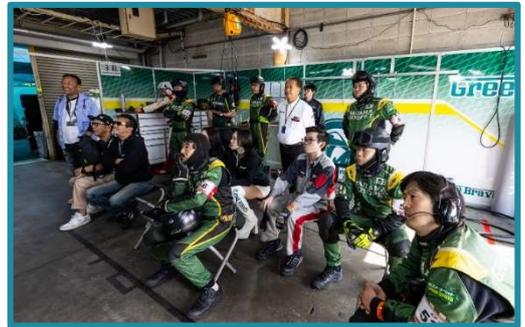
(決勝後) 順位を上げて4位に入りましたが、表彰台とはだいぶ違うので悔しかったです。予選の順位があんな位置なので、こうなるのは仕方ないという展開でした。良くなる要素はなく、わかった上で耐えるしかなかったです。(65号車と7号車とのバトルは) やれるだけやりました。今日がチャンピオン争いだったら、違う戦い方があったかもしれませんが、相手もフェアに戦ってくれました。やれる範囲の中でいろいろやったのですが、接触もなく戦えたので、良かったと思います。次戦に向け、みんなでクルマづくりとセットアップを頑張りたいと思います。



野中誠太 選手

(予選後) うまくまとめられず、悔しい予選になりました。時間に余裕があったので、最後の方にアタックするように作戦を立てたのですが、気持ち的にはもう少し早くアタックした方がピークグリップを活かしたのかなと感じています。明日は半年以上ぶりのSUPER GT決勝となりますが、このチームの強みは決勝のロングランにあると思うので、まずは落ち着いてレースをするということと、強みの部分を伸ばせるようにしっかり集中して、結果を持ち帰りたいと思います。

(決勝後) 最低限、表彰台に上りたかったので、気持ち的には悔しいですね。今後に向けての課題がはっきりと見えた初戦でしたが、収穫の多いレースでもありました。予選8番手から追い上げて、この位置まで来られたのはポジティブだと思います。予選でも少し上位に入り、決勝もそれぞれの細かいところを積み重ねて優勝したいです。ただ、もうワンステップ上がれば優勝できると思うので、今日はそこが少し足りませんでした。開幕戦らしいと言えば、開幕戦らしかったと思うので、課題をしっかりと見つめることができれば優勝は狙えると思いますので、次戦がすごく楽しみです。次はまだ長い富士になるので、頑張っていきたいと思います。



GT300 クラス決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	muta Racing GR86 GT (トヨタ GR86)	77周
2位	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	77周
3位	Studie BMW M4 (BMW M4 GT3)	77周
4位	Green Brave GR Supra GT (トヨタ GR Supra)	77周
5位	apr LC500h GT (レクサス LC500h)	76周
6位	K-tunes Racing RC F GT3 (レクサス RC F GT3)	76周

天候：晴 路面：ドライ ※トップ6まで(出走26台)

GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	8	muta Racing INGING	23
2位	65	K2 R&D LEON RACING	18
3位	7	BMW M Team Studie×CRS	14
4位	52	埼玉 Green Brave	11
5位	31	apr	9
6位	96	K-tunes Racing	8

トップ6まで

PARTNERS

